

様式3 令和6年度新座市学校評価システム学校運営協議会による評価シート

目指す学校像 (重点目標)	子供の自己有用感を実感させ、 主体的・協働的な学びを実践していく学校づくり ①自己有用感を実感できる学校 ②主体的な活動を引き出し、協働的に問題解決を図る学校 ③学びやすい環境をもち、安全・安心が確保された学校 ④保護者・地域の方々に信頼され、誇れる学校	学校名	新座市立大和田小学校
		実施日	令和 7 年 1 月 1 5 日

<記入の仕方>

- 「自己評価」及び「学校運営協議会による評価」の欄には、S A B Cを記入してください。
 ○「自己評価についての説明」の欄には、その評価に至った理由及び自己評価の結果を学校がどのように受け止めるか特記事項がある場合のみ記載してください。

評価項目「組織運営」

質 問 項 目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、働き方改革を進めるため、校務分掌や教育課程等を適宜見直し、教職員の意識を高めよう組織的に取り組んでいる。	B	・校務分掌組織を見直し、負担の均衡を図った。 ・のべ23日間の授業時数調整日を設定し、概ね1時間の授業時数を減じ、学級事務の時間を創出し、教職員の負担を軽減した。	A	学校全体で働き方改革を進める機運が醸成され、公務分掌の見直しなどが順調に進められている。遅くまで学校に残る先生も減っている。今後も責任の重い分掌については、分担制などの改善を進め、協働して仕事を進めるようにして頂きたい。
学校は、児童生徒の発達段階に応じた適切な配慮を行い、一人一人にとって最適な学びを提供するよう努めている。	A	・児童が自分に最適な学習方法を選択する場面を設定し、自分事として捉えてより主体的に学習することにより、学習者主体で、個別最適な学び、協働的な学びの充実につなげている。	A	目指す学校像に向けて、児童の自己有用感を実感させ、主体的・協働的な学びを実践している。個々の能力に応じた学びが提供されているが、せつかくの算数の少人数指導が十分に活用されていないことが残念である。

評価項目「学力向上」

質 問 項 目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、児童生徒が学習内容の理解を深めることができるよう、指導と評価の一体化を重視した授業を展開している。	A	・学習指導のねらいが児童の学習状況として実現されたかについて、評価規準に照らして観察し、毎時間の授業で適宜指導を行っている。	A	全国学力テスト、県の学力調査など、毎年良い結果を出していることから、着実に成果を上げていると感じる。また児童のアンケートからも伺える。毎時間、ねらいや振り返りを行い、授業づくりに努力されている。更に改善を図って欲しい。
学校は、ICTを有効に活用し、発達段階や学力・能力に即した学習指導を行っている。	A	・一人一台端末を活用したほか、5・6年生の教室に75インチの大型電子黒板を導入し、授業等で活用している。	S	一人一台のタブレットによって、児童の理解度を把握している。出来ていない児童への個別指導を今後も徹底していただきたい。ICTの活用によって、学年で共通理解が進み、学級の差が少なくなりある程度統一された授業展開が可能になってきたように感じる。

評価項目「豊かな心の育成」

質 問 項 目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつする環境を醸成している。	B	・毎月1日に代表委員会児童と教職員による挨拶運動を実施するとともに、各学級での学級活動の時間にも挨拶について話題にし、指導した。	A	毎月の挨拶運動、委員会が中心となつての挨拶運動など、良く取り組んでいる。学校内では比較的良く挨拶ができているように感じる。防犯上、声掛けは継続していただきたい。見守り隊の方や、農園ボランティアへの挨拶が、もう少し頑張ってくれと良い。元氣な挨拶を期待している。
学校は、児童生徒一人一人が個の特性を認め合って学校生活を送ることができる環境を整備している。	A	・目指す学校像を実現するための方策として、子どもが自信をもって発表し、認められるような学級の支持的な環境を醸成することを明記し、一人一人の長所を生かした教育活動を展開している。	S	授業や様々な活動において、児童の多様な意見を聞き評価する指導をしているように感じる。自己有用感を育み、教育の成果が保護者、児童のアンケートから感じ取れる。学校目標の「やさしく(感性)」はとても大事であるので、先生方の指導に期待している。

評価項目「健康・体力の向上・安全」

質 問 項 目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、体育や部活動、休み時間などを通じて、児童生徒が意欲的に運動に親しむような取組を行い、体力向上に努めている。	A	・休み時間に鬼遊びの大会を実施して、運動に親しむ機会を充実させた。 ・教員向け研修会を実施し、体力向上のための指導力の向上を図った。	S	今年度取り組んだ縦割り遊びなどを、更に発展継続させて、様々な体験をさせて欲しい。ゲーム依存にならないよう、学校でも児童に働きかけて頂きたい。今年は、児童が休み時間の活動をとても楽しみにしていた。天候不良や猛暑時での対応も検討してほしい。
学校は、事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう、危機管理マニュアル等を作成し、迅速に対応できる体制を整えている。	A	・危機管理マニュアルに沿った避難訓練や不審者対応訓練を実施し、警察の指導のもと、マニュアルの見直しや共通行動の確認をしている。 ・児童の安全意識を向上させるため、児童が自分で考えて行動できるよう指導していく。	A	いつ事故や事件が起きるかもしれないので、引き続き警戒をして頂きたい。特に、南門では、時間になったら、必ず門を閉めることを徹底していただきたい。緊急時での対応を、日頃からよく指導して頂きたい。駅に近い学校でもあるので、不審者対応訓練を1学期にしていると思う。

評価項目「保護者・地域との連携協力」

質 問 項 目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、学校だよりやホームページなどで、教育活動の様子や成果・課題などについて定期的に情報提供している。	A	・各種おたよりやホームページなどで教育活動の様子について情報提供するとともに、音楽発表会において保護者の皆様に、お子さんがいない学年の発表も鑑賞いただけるようにした。	S	ホームページや学校だよりの回覧など、情報提供が良くされている。全校集会や行事の様子など、HPにUPしたらお知らせしてくれると、より多くの方が気づいて見るのではないと思う。公民館等に学校だよりが置いてあるので、地域の方々も学校への関心が高まっていた。
学校は、保護者や地域と連携した活動を計画的に実施している。	A	・保護者と学校応援団が一体となった読み聞かせ、保護者による大根販売ボランティア等、新たな保護者や地域住民との活動の充実を図っている。	S	学校応援団、保護者との関係がとても良く、活動が充実している。PTAの読み聞かせが応援団と一緒にしたこと、人数確保もでき、地域の方とも触れ合えてよかった。大根販売など地域の方と協力し実施できている。挨拶運動も協力して実施できている。